



2020年10月21日

各 位

会 社 名 シュッピン株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長CEO 小野 尚彦
 (コード番号：3179 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役CFO 辻 本 拓
 (TEL. 03-3342-2944)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年6月17日に公表しました2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,619	344	364	215	9.12
今回修正予想 (B)	14,396	531	548	362	15.34
増減額 (B - A)	777	187	184	147	
増減率 (%)	5.7	54.4	50.5	68.4	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期第2四半期)	17,852	1,124	1,118	758	32.12

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における業績は、新型コロナウイルス感染拡大による店舗臨時休業や消費マインドの一時的低下を受け、第1四半期は厳しい環境が続きましたが、6月以降更なるEC強化を進め、商品掲載数、コンテンツの拡充等を図ったことで、主力のカメラ事業、時計事業においてECでの新品、中古品の販売が順調に推移し、売上高予想を上回る見通しであります。また、順調な中古品売上高において、売上総利益率も計画以上の改善で推移していること、費用のコントロールもできていることで、売上総利益、営業利益以下の各利益で前回予想を大きく上回る見通しであります。

前年同四半期との比較では、前年9月度に消費増税前の駆け込み消費が入っていることと、当期における4月11日から5月25日までの店舗臨時休業、6月末までの政府によるキャッシュレス決済5%ポイント還元制度への対応、免税売上高(インバウンド)が限定的であること等が主な差異要因となります。

なお、通期の業績予想につきましては、第3四半期以降においても堅調な事業進捗の見通しではありますが、新型コロナウイルス感染再拡大の状況や、当社で最大の商戦期であります12月商戦を含む第3四半期の進捗状況を踏まえ、予想の修正が必要になった場合に速やかに開示をい

たします。

(注) 上記の業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上